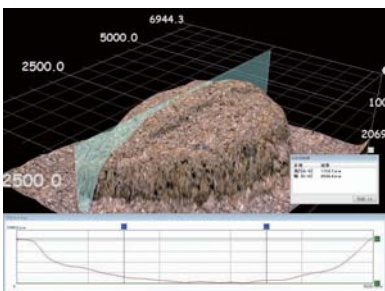


顕微鏡観察

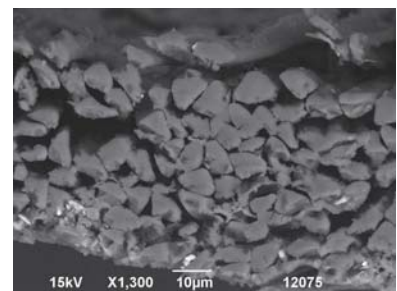
当社では、走査型電子顕微鏡、デジタルマイクロスコープ、偏光顕微鏡、光学顕微鏡、実体顕微など、各種顕微鏡をそろえている。これらを駆使することによって、物質の微細構造を観察し、不明物質の同定や、物質の由来・履歴に関する情報収集などを行う。特に考古分野においては、非破壊、非接触で観察可能であるため、破壊による分析には精度的には劣るものの、唯一無二の存在である遺物を傷つけることなく観察することが可能である。さらに、デジタル処理により圧痕の雄型を復元・計測することにより、原体の由来を調べたり制作方法についての検討も行うことができる。この他、混入した微細な異物の特定、動植物の組織観察など、考古、地質、土壌分野だけでなくさまざまな分野に役立てられる。



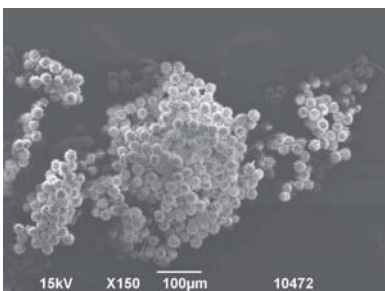
土器圧痕 イネ
(デジタルマイクロスコープ3D像)



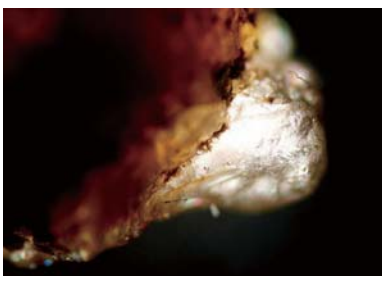
土器表面(実験製作)
(マイクロスコープ深度合成像)



遺物付着布製品 絹糸
(電子顕微鏡)



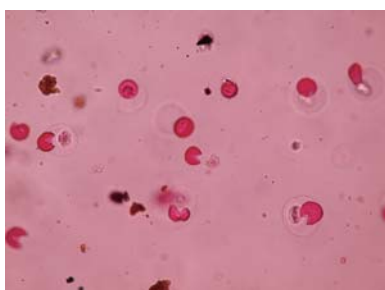
付着異物
ミツバチの糞(キク科花粉)
(電子顕微鏡)



混入異物 石英
(偏光顕微鏡)



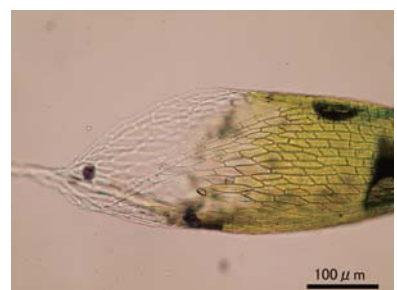
ボーリングコア中植物遺体
ヨシの地下茎?
(デジタルマイクロスコープ)



池沼浮遊異物 スギ花粉
(光学顕微鏡)



付着異物 蘚類 ギンゴケ
(デジタルマイクロスコープ)



付着異物 蘚類 ギンゴケ
(光学顕微鏡)